
カシオペアの空

柚月 祥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カシオペアの空

【Nコード】

N6932F

【作者名】

柚月 祥

【あらすじ】

家族のためと思いながら、罪を犯してしまった主人公、瑠衣は、家族との葛藤や、励ましや、温かさを感じることで、はたして日常生活を送れるようになるのか・・・悔恨と涙と信頼を織り交ぜて、私小説風に綴っていきます。

11月8日(前書き)

犯罪をテーマにしていますが、けっしてミステリーとか、犯罪小説ではありません。

11月8日

その瞬間、ただびっくりしたと同時に、なぜ、このドアが開いたのか？ということと、入ってきたのは、ここで管理してる人なんだ・・・と、

ぼんやりと思ったただけだった。

私は、ただ、目の前のモニターの下にある、幅20センチほどの隙間を見つめていただけ・・・

そこから、出てくるはずであった融資用のカードを待っていただけ・・・

そのドアが突然開いて入ってきたのは、30代前半とおぼしきジャンパーを羽織った男性を先頭とした、数人の一団だった。

なんでこんなにたくさんの人が入ってくるの？

この人たちは誰？

そして、目の前に置いたままの、私の免許証を手に取り・・・正確に言えば、私のものではないけれど・・・

「これは、あなたのですか？」と聞いてきた。

私は、「・・・はい」と力なく答えることしかできなかった。

その人たちが、「警察」と名乗ったのかさえ今でも覚えていないほど、私は動揺していた。

ずっと、ローン会社の人にばれてしまったとしか認識できていなかった自分は、滑稽にも、その免許証をバッグにしまわなければ！

と思った。

とっさに出した私の手を、その人はさえぎり、こう言ったのだ。
た。

「うーん、これは犯罪ですよ。警察に来ていただかないと・・・」

やっぱり干支を確認しておくべきだった。それで、偽の免許証だ
ということがばれたんだ・・・

「すみません。主人には、このこと知らせないで欲しいんですけど。
・・・」私は必死だった。なにがなんでも、夫には、知られてはなら
ない！

案の定・・・「無理ですよ・・・だって、泊まってもらわなくち
やならないもの、警察に」

泊まる？警察に？私が？なぜ？・・・

私の混乱は、ピークに達した。夫に知られてしまう・・・という
ことは職場にも！？

回避しなければ、それだけは！・・・無理難題とわかりつつも、
恐る恐るたずねてみた。

「職場にも知らせるんでしょうか・・・？」

その人は、少しだけ考えるふりをして「たぶん・・・」と答えた。
これは逃れようのないことなのだと実感し、ますます暗澹たる気
持ちになった。

何のために、今まで、夫には秘密にして、苦しい思いをして、や
りくりしてきたというのだ。

これで、もう、今までの私のしてきたことすべてが水泡に帰して

しまうではないか。

自分のやったことを冷静に判断できなくなっていた私は、わらにもずがる思いで、何度も何度も「夫にだけは・・・」と訴えたのだった。

今から思えば、滑稽だし、みじめで、なりふりかまわない私の姿は、そこにいた数人の人たちの失笑を買っていたことだろう。

そして、その人たちは、何回も私や、目の前のモニターや狭い室内を、いろんな角度から写真を撮ったり、携帯で連絡を取ったり、あわただしく出入りをしていた。

その様子をぼんやりと眺めながら、心と体がばらばらになったような感覚になり、胸の動悸も激しく感じていた。

その人は、また聞いてきた。

「もう一度聞くけど、これは、あなたの免許証？」

私はもう、何を言っても無駄だということを実感し、力尽きていた。

本物の免許証の上にコピーした紙を貼っただけの、ひどく子供じみた粗末な「偽造免許証」の端をめくりながら、

「これは、偽造したものですよね？わかります？これは、犯罪なんですよ！？」

犯罪・・・そうなんだ、私は、罪を犯したんだ・・・

このとき、初めて、自分の今の状況を把握したような気がする。

「じゃ、行きましょうか・・・」

その無人ローンの小さな建物から、初めてパトカーへと乗せられた私は、すべてが夢のように、現実感を伴っていなかった。

いや、夢だといいのに・・・と思っていただけなのかもしれない。

11月8日（後書き）

登場する人物、組織等は、すべてフィクションで、実在いたしません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6932f/>

カシオペアの空

2010年10月10日04時27分発行